

岩手県職労

月2回刊=1480号
2017年3月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

県職連合第21回・県職労第117回臨時大会

賃金改善・欠員解消など職場改善に向け方針確立

17春闘方針確認し、春闘本番へ

3月4日、県職連合・県職労は臨時大会を開催し、確定闘争の総括を踏まえた17春闘方針等の当面の闘争方針を提案。代議員から人員確保、賃金・手当改善、異動対策等の補強発言を受け、春闘方針が確立した。

開会に当たり、小野中央 きた発令日までの3週休日執行委員長から「人事異動の確保を反故にしたことは時期となるが、内示日に閣極めて問題だ。沿岸部を中心に住居確保が困難などの



課題解決に向け、当面する春闘に全力で取り組むことを意思統一した臨時大会

職員の事態を顧みない当局姿勢を厳しく追及していく。さらに、当局は欠員解消の努力をせず、国体動員や災害対応等で全力を挙げている職員に報いていない。職場は限界であり、改めて職場の働き方を点検し、当局に事態を突き付け、人員確保、超過勤務課題の改善を強く求めていく必要がある。引下げとなった交通用具の通勤手当改善など確定闘争からの継続課題の前進に向けた取組みも重要だ。春闘で民間労働者と一体となって賃金・諸手当及び職場改善に向け取り組みに結集し、確定闘争につなげていく必要がある。運動方針確立に向け活発な議論を」とあいさつ。その後、県本部野中執行委員長から来賓あいさつを受けた。議事では、月額10、000円の賃金改善、通勤手当をはじめとした諸手当改善、獣医師等の専門職の処

人員確保、超勤縮減、賃金改善強く求める 17春闘要求書を提出 3.8 人事課総括課長交渉

3月8日、県職労は春闘要求書を佐藤人事課長に提出し、交渉を行った。主な交渉結果は次のとおり。
【勤務意欲確保策】
主幹任用や勤勉手当の運用上の工夫を継続するほか、昇給・昇格による現給保障対象者の減少状況を分析して、検討していくとした。
【諸手当改善】
高速道路利用や交通機関利用の際の駐車場利用に係る通勤手当の改善については、国・他県の状況を見ながら検討すること、交通用具利用の手当改定のルール



要求書を手渡す小野委員長(右)



要求事項について説明し改善を求める交渉団

遇改善、欠員解消と業務実態に基づく人員確保、任期付職員の任期の定めのない職員への採用枠の拡大、超過勤務手当の完全支給と適正な勤務時間管理、休暇制度の拡充など121項目からなる春闘要求を含めた17春闘方針をはじめ、国の退職金見直しの動きへの対応

【主な補強発言の概要】

(胆江支部)

・当局は、運転技士及び守

衛は再任用終了後は不補充との見解を示したが、運転技士は恒常的に人員不足であり、県庁舎に精通した守衛の直営堅持の観点から取り組みの強化を。

(宮古支部)

・沿岸部での住居確保は困難。希望者全員が居住できるように公舎の確保を。

(久慈支部)

・任期付職員の任期の定めのない職員への選考採用に当たり、希望者全員が採用できるように採用枠の拡大を。

(盛岡支部)

・交通用具利用の手当改善は断じて許されず、職員のモチベーション維持のためにも手当改善を。また単身赴任手当の支給要件緩和を。

(超勤課題)

超勤予算は十分確保しているとし、予算不足の職場があれば部局を通じて把握するとの回答を引き出した。

(人事異動)

旧所属の状況、職員の移動に係る状況を含め、適切に着任日等を決めていただくこととした。交渉団からは沿岸部の公舎等の確保を強く要請した。

(今後の課題)

来年度当初も大規模欠員が続く厳しい状況が明らかとなった。県職労は賃金・職場環境の改善など山積する課題の解決に向け、粘り強く取り組みを進めていく。

在職中に掛金を積み立てて、退職時に「年金」「医療」「遺族」の3つの給付を必要に応じて組み合わせることができる制度です。

退職後の保障を 充実させる

じちろうの長期共済
自治労共済本部

2017春闘ストライキ批准投票結果 (自治労本部)

一圧倒的多数で信任・闘争体制確立一 2017年2月21日17時現在の集計の結果

実施単組数	組合員数	投票数	賛成	反対	白紙	無効	投票率	賛成率	批准率
2,374	757,508	616,333	576,367	25,314	12,929	1,723	81.36%	93.52%	76.09%

上で、来年度当初に職員の特別募集(40人規模)を実施するとしていた。交渉団からは早期の欠員解消見通しを示すよう強く求めた。

「不思議なクニ」の国民のままでいるのか、真剣に考え、行動する時に来ている。

「不思議なクニの憲法」という映画をご存知だろうか。憲法で守られてきた私たちの権利が危機に晒されているとし、憲法問題を「自分ごと」と気づいてもらいたいために、憲法を守る活動に取り組みむ青年、主婦、学者等を取材したドキュメンタリー映画だ▼映画のタイトルは、憲法も立憲主義も無視した政治が続けられるのに、国民がこれほど政治のことを考えない国はなんと「不思議なクニ」(国家・国民)ということに付けられたもの▼主権者が政治から離れ、最後の砦である憲法を失う最大の危機にあるなか、憲法を活かすか殺すか、私たちに問われている。国会では「共謀罪」(テロ等組織犯罪準備罪)を巡り、与野党の攻防が続いている。共謀罪は組織的犯罪集団を幅広くとらえ、準備行為の範囲もあいまいで政権の思うままに思想・良心の自由を侵すものであり、「モノ言えぬクニ」に変貌させる。労働組合も例外でない▼安倍政権の改憲議論が加速するなか、共謀罪が成立すれば憲法が崩壊にされる。この危機を前になお「不思議なクニ」の国民のままでいるのか、真剣に考え、行動する時に来ている。

久慈支部・独自要求書提出

欠員解消・職場環境改善を

県北広域振興局長・経営企画部長と交渉

久慈支部では、欠員解消、職場環境改善をはじめ

とした要求をまとめ、3月2日に八重樫県北広域振興



要求書に基づいて改善を求め交渉を行う執行部(左)



八重樫振興局長に要求書を手渡す藤本支部長(左)

局長へ要求書を提出・交渉を行った。局長は、欠員解消に向けて人事課及び主管室課に要望していること、職員衛生委員会を通じて職場環境の改善に努めるとの

姿勢を示した。その一方で単身赴任手当の支給要件拡大(人事異動に伴い、介護が必要な親や子など配偶者以外の者と別居することとなった場合にも支給すること)については、局での対応は困難との回答にとどまり、継続課題となった。

2月28日には、庁舎・公舎の修繕等に関し、和山経営企画部長と交渉を行った。要求した職員駐車場の舗装については困難だが駐車場の適正管理に努めること、公舎及び執務室の修繕は要望を聞き計画的に対応していくとの前進回答を引き出した。久慈支部では今後独自交渉の成果と課題を総括し、今後の支部運動に活かすことにしている。

労働者の視点から賃金・職場改善を

平和環境県センター 青年女性総決起集会



課題を共有し春闘前進に向けて意思統一した決起集会

3月5日、平和環境県センター青年女性春闘総決起集会が県公会堂で開催され、県内各地から約50人が参加した。平和環境県センター青年部協議会・白井省悟議長(岩教組)は「多くの青年が低賃金や長時間労働で辛い状況だ。日頃の働

き方がこれで良いか、安心して生活できる賃金となっているか点検し、譲れない要求として掲げ、春闘に取り組みよう」とあいさつ。基調提議ののち、基調講演として、労働大学出版センター編集長の松上隆明さんから、安倍政権が進める働き方改革の問題と春闘を巡る課題について講演を受けた。松上さんは、安倍政権のアベノミクスでも実質賃金は下落が続く破綻状態で

あり、景気を底上げする個人消費の拡大のためにも労働者の賃金改善は不可欠である。一方で、安倍政権が進める働き方改革は労働者向けの政策と吹聴しているが、同一労働同一賃金は労働者の処遇格差を固定化するだけでなく、処遇の下方平準化により賃金引下げを誘発しかねないこと、長時間労働の上限規制も例外的に過労死ラインの残業を容認するものであるなど、安倍政権が進める働き方改革に惑わされることなく、春闘に結集し、労働者の視点から賃金・職場改善に取り組みようと訴えた。

2017新年号クイズ

当選者発表

県職労新年号機関紙「新春プレセントクイズ」には98人の応募があり、うち86人が全問正解しました。

《クイズの正解》

下表のとおり

《各賞当選者》

【特別賞】清温荘宿泊券

野坂 美緒さん

(花巻支部・遠野農林振興センター分会)

【県庁支部賞】

「ペレン・ビルギフトセット」

藤原 正さん

(盛岡支部・築川ダム分会)

【盛岡支部賞】

「びよんびよん舎・盛岡冷麺」

高畑 博志さん

(胆支支部・種山畜産研究所分会)



「特別賞」を手にした喜びの野坂美緒さん

2017新年特集号 クイズ 正解

クイズ	正解
Q1 1993年確定闘争で賃金改善に加え、専門職の人員確保の観点でも前進を勝ち取ることができたのは何?	C (獣医師の初任給手当の支給)
Q2 ご当地キャラと出身地の正しい組み合わせは?	ウ・宮古市 オ・釜石市 イ・陸前高田市 エ・久慈市 ア・大船渡市
Q3 県内の道の駅で売られているソフトクリームと販売する道の駅名は?	オ・にしね カ・やまだ ア・釜石仙人峠 イ・さんりく ウ・石神の丘 エ・みやもり

ができていないこと、②組織力が低下すると、積み上げてきた水準が維持できず引き下げられ、また大変な状況に陥ってしまうので、すべての仲間のために加入を勧めましょう。

着実に改善!! 自信を持って加入の声を!!

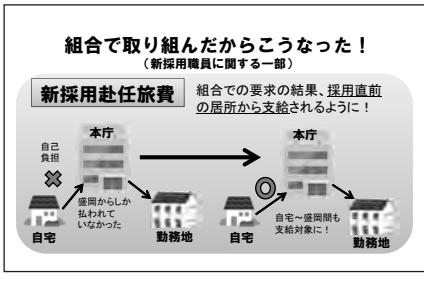
組合に入って納得できる環境づくり

もうすぐ4月。新採用加入の時期です。組合はメリットもありますが、「組合に入らないことで生じるデメリット」がとても大きいです。新採用職員へは、着任後すぐに加入の声をかけたいと思います。

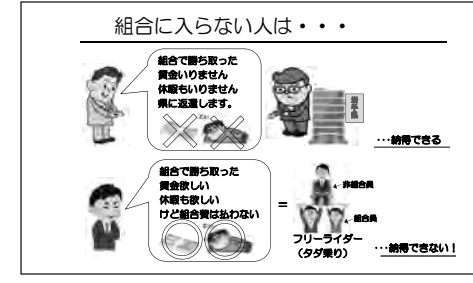
【組合がなかったら...】
組合で賃上げ要求を取り組まなかった場合、新採用

職員は、今よりも7、300円低い賃金で生活しなければならなかったかもしれない。赴任旅費もわずしか支給されていないでしょう(下図のとおり)。この改善も組合の成果です。

「組合費を払わせるのが可哀そうだ」という声もありますが、①この3年で組合費を超える賃金引き上げ



【組合は入らなくてもいいよ?】
「組合には入らなくてもいいよ」と、新採用職員に言っている人はいませんか。組合に加入させないよう誘導する行為は、立場によっては不当労働行為に当たります。



あげましょう。また、職場改善のために「他人の頑張りに甘えているのではなく一緒にがんばろうよ」と声をかけて誘いましょう。

あり、景気を底上げする個人消費の拡大のためにも労働者の賃金改善は不可欠である。一方で、安倍政権が進める働き方改革は労働者向けの政策と吹聴しているが、同一労働同一賃金は労働者の処遇格差を固定化するだけでなく、処遇の下方平準化により賃金引下げを誘発しかねないこと、長時間労働の上限規制も例外的に過労死ラインの残業を容認するものであるなど、安倍政権が進める働き方改革に惑わされることなく、春闘に結集し、労働者の視点から賃金・職場改善に取り組みようと訴えた。

その後、分散会討論を実施し、「毎日10時過ぎまで残業しており、土日出勤はサービスマン残業となつていく。日々余裕がない生活だ」、「将来マイホームを建てたいが難しい。子ども

の将来の学費に不安がある」等の実態を突き合わせ、賃金改善、人員要求等の春闘要求としてまとめ、グループ発表で課題を共有し、春闘前進に向け意思統一した。